

第5学 組 算数科学習指導案

日時：平成16年度12月2日（木）

授業者・場所 第3校時

学びコース 大平寧子（5年 組）

はばたきコース 上手英夫（学習室）

ひらめきコース 古家智之（5年 組）

1. 単元名 「四角形と三角形の面積」

2. 研究主題に関わって

仲間とねりあい、わかる喜びをともに実感できる授業づくり

(1) 「ねり合い」と「分かる喜び」について

5年生は10月の公開授業で、研究主題に関わって次のような姿を目指した。

- ・自分の考えと比べながら仲間の話を聞き、分かる喜びにつなげる姿
- ・自分の追究の仕方を伝えたり、教え合ったりと、ねり合いにつなげる姿

授業の展開の中で、5年生は「始めの考えタイム」と「考え方タイム」を設定している。「始めの考えタイム」では、既習事項との対比や経験の想起をねらいとして、それらを自分なりに思い出し、「つかむ」ことへの足場となるように願っている。そして、このことが解決方法の思考の支えとなり、課題への解決方法選択の場を見通していくのではないかと考えた。「考えタイム」では、互いの考えを交流して、より良い方法に気付いていくために「早い、簡単、正確」な方法へと、みんなで気付き合っていくことを願っている。

9・10月は 組の少人数指導で、このことを実践し、児童の中に算数の学習スタイルがある程度定着してきた。

そして今回の 組の少人数指導でも、5年生の学年としての実践を大切にするとともに、他の学年での実践を参考にして各コースの特徴を明確にし、課題をコースごとに変えるなどの工夫をすることにした。各コースでの目指す段階を次のように考え、コース決めに合わせて児童に説明し、また算数学習に対する願いを持たせた。

- ・学びコース...算数学習の基本の力を、しっかりと身に付ける。先生との話し合いで学ぶ。
- ・はばたきコース...ペアやグループで考えを発表し合い、問題を考える。
- ・ひらめきコース...自分の考えを分かりやすく発表し、みんなで意見を交流する。

(2) 児童の実態について

組（男子 人、女子 人）は、担任が教科（理科、音楽）で交換授業を行っており、児童の名前や特徴をよく知っている。また、子ども達は隣同士のクラスのこともあり、お互いに仲良くして生活している。素直で男女の仲が良く、休み時間などは元気に外で遊ぶ姿が見られる。

算数の授業は、まじめに学習に取り組むが、苦手意識を持つ子は少なくない。問題解決の早さも異なっているので、各コースでの学習の展開や支援の仕方を工夫している。

(3) 本単元に関わる支援について
各コースでの基本的な支援のあり方

..... 学びコース

単位時間内の学習活動は、できるだけスモールステップにし、教師の助けを借りながら学習を進めさせ、分かる喜びを味わわせる。半具体物の操作をし考えることによって、一人ひとりの理解を確かなものにする。具体物は視覚に訴えるものにする。個別指導を要する児童への支援を配慮する。

..... はばたきコース

単位時間内の学習は、一斉指導を基本とする。問題解決場面でペアやグループ学習を取り入れることによって、学び合うことの楽しさを味わわせる。半具体物の操作をし考えることによって、一人ひとりの理解を確かなものにする。

..... ひらめきコース

問題解決型の学習過程を基本とし、多様な見方や考え方を出し合う時間を十分に設定し、一人ひとりの数学的な考え方を伸ばす。個別学習を基本としながら、追究する段階で時間を十分にとり、教え合い学び合う姿勢を養い、学び合う楽しさを味わわせる。

この単元の第2時が済んだところで、児童にコース変更を認めることにした。担当教師のアドバイスを受け、何人かが自分によりふさわしいコースに移った。

教育用コンテンツ（情報通信ネットワーク）の活用

本校にはノートパソコンが12台あるので、時々、算数学習にも利用している。今回もコンピュータやプロジェクター等の機器について、問題提示の場面や児童の発表の場面、ヒントを与える場面等で活用し、児童の学習意欲を引き出したり、理解を深めることに役立てていきたい。

【利用したコンテンツ】

- 大日本図書「算数数学の思考過程をイメージ化する動画素材集」より
- ・平行四辺形の面積 http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_02/S18.mpg
 - ・三角形の面積 http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_02/S19.mpg
 - ・尼崎コンテンツ研究会からの Flash-Contents
 - ・文溪堂 「さんすうワールド5年」

3. 本時の授業の観点

1. コースに応じた、ねり合いの場の設定ができたか。
 - ・学びコース...全体場で、自分が分かったことを話したり、友達の意見を聞いて納得したことを話すことができたか。
 - ・はばたきコース...ペア グループ 全体という学習形態の流れは効果的だったか。
 - ・ひらめきコース...机間指導で掴んだ児童の多様な考え方を、全体で意見交流する時に意図的な指名で引き出し、まとめるための教師の支援はどうだったか。
2. 教育用コンテンツの活用は、効果的だったか。
 - ・個への支援、一斉指導での活用